

高崎商科大学短期大学部 2025年度(2026年3月卒) 卒業時キャリアアンケート

対象者 調査票配布時の卒業予定者(59名)

回答者数 33名 回答率 55.9%

調査概要

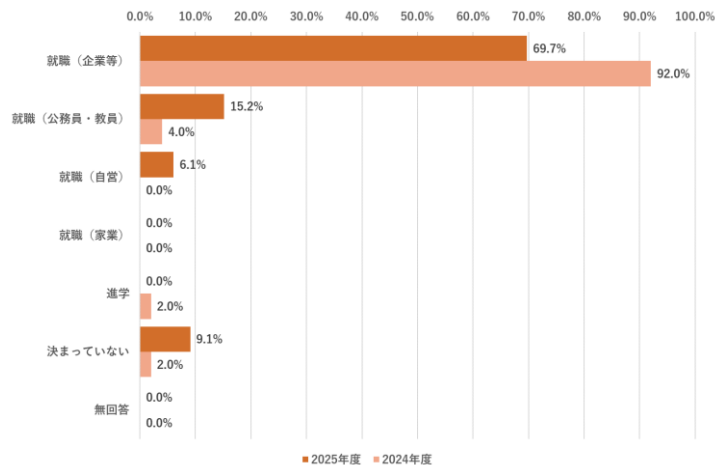
調査目的 本学を卒業する短大生の就職活動・進路に関する満足度を明らかにする。

調査期間 2026年1月6日(火)～2026年1月30日(金)

調査方法 ゼミ内で調査票を配布し、記入後にキャリアサポートセンターで回収。匿名による調査票調査を実施。

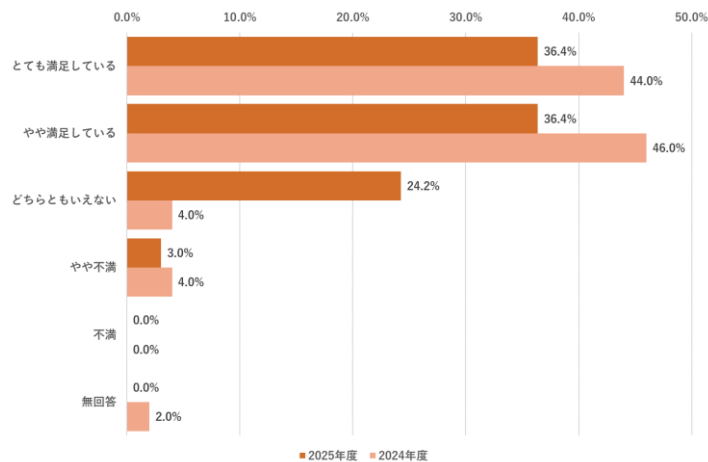
Q1. 卒業後の進路について教えてください(✓は1つ)。

	度数	割合
就職(企業等)	23	69.7%
就職(公務員・教員)	5	15.2%
就職(自営)	2	6.1%
就職(家業)	0	0.0%
進学	0	0.0%
決まっていない	3	9.1%
無回答	0	0.0%
合計	33	100.0%



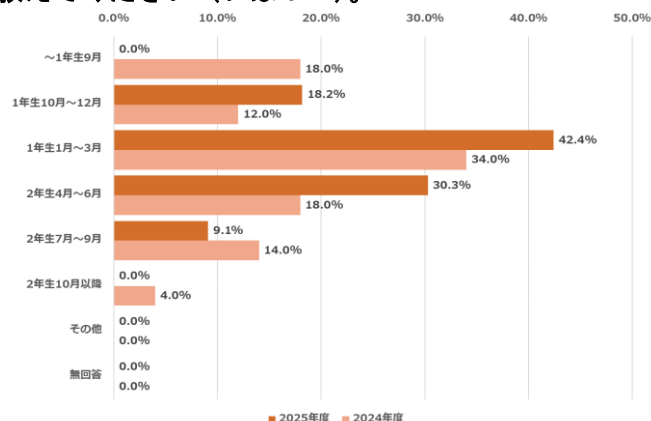
Q2. 卒業後の進路について満足していますか?(✓は1つ)。

	度数	割合
とても満足している	12	36.4%
やや満足している	12	36.4%
どちらともいえない	8	24.2%
やや不満	1	3.0%
不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	33	100.0%



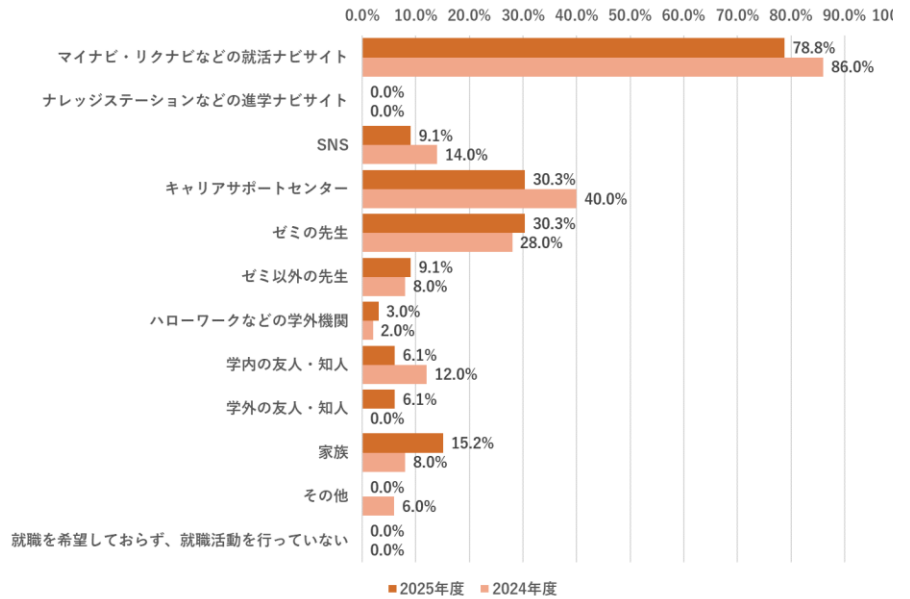
Q3. 進路選択に向けた具体的な行動を開始した時期を教えてください(✓は1つ)。

	度数	割合
～1年生9月	0	0.0%
1年生10月～12月	6	18.2%
1年生1月～3月	14	42.4%
2年生4月～6月	10	30.3%
2年生7月～9月	3	9.1%
2年生10月以降	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	33	100.0%



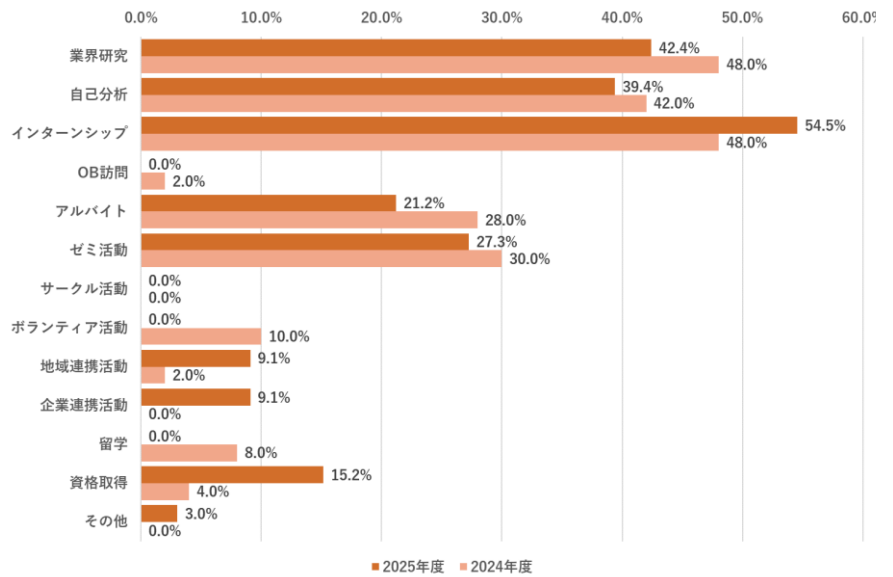
Q4. 進路に関する情報をどのように入手していましたか？（複数回答可）

	度数	割合
マイナビ・リクナビなどの就活ナビサイト	26	78.8%
ナレッジステーションなどの進学ナビサイト	0	0.0%
SNS	3	9.1%
キャリアサポートセンター	10	30.3%
ゼミの先生	10	30.3%
ゼミ以外の先生	3	9.1%
ハローワークなどの学外機関	1	3.0%
学内の友人・知人	2	6.1%
学外の友人・知人	2	6.1%
家族	5	15.2%
その他	0	0.0%
就職を希望しておらず、就職活動を行っていない	0	0.0%
回答者数	33	



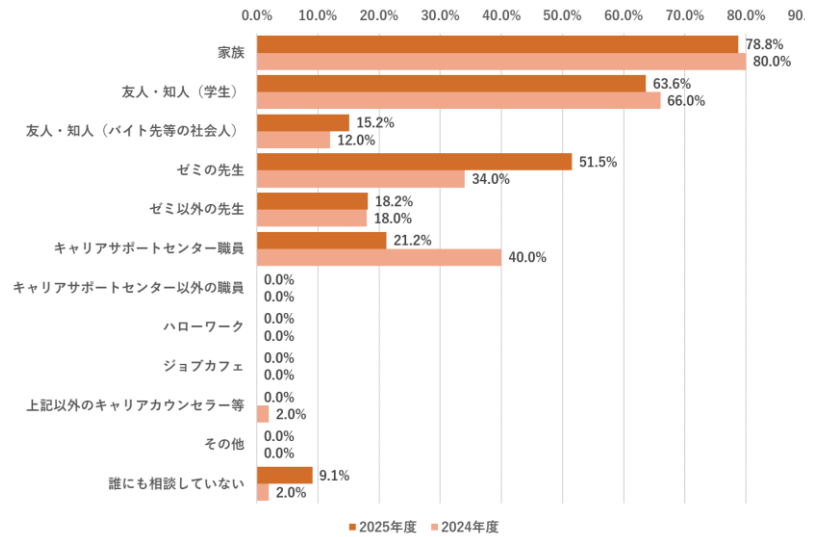
Q5. 進路選択の際に役立った経験はどのようなことですか？（複数回答可）

	度数	割合
業界研究	14	42.4%
自己分析	13	39.4%
インターンシップ	18	54.5%
OB訪問	0	0.0%
アルバイト	7	21.2%
ゼミ活動	9	27.3%
サークル活動	0	0.0%
ボランティア活動	0	0.0%
地域連携活動	3	9.1%
企業連携活動	3	9.1%
留学	0	0.0%
資格取得	5	15.2%
その他	1	3.0%
回答者数	33	



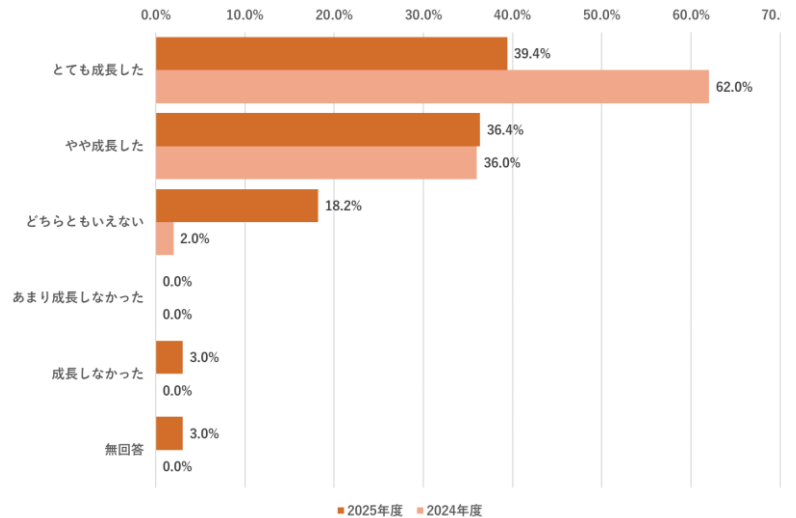
Q6. 進路選択の際は誰に相談しましたか？（複数選択可）

	度数	割合
家族	26	78.8%
友人・知人（学生）	21	63.6%
友人・知人（バイト先等の社会人）	5	15.2%
ゼミの先生	17	51.5%
ゼミ以外の先生	6	18.2%
キャリアサポートセンター職員	7	21.2%
キャリアサポートセンター以外の職員	0	0.0%
ハローワーク	0	0.0%
ジョブカフェ	0	0.0%
上記以外のキャリアカウンセラー等	0	0.0%
その他	0	0.0%
誰にも相談していない	3	9.1%
回答者数	33	



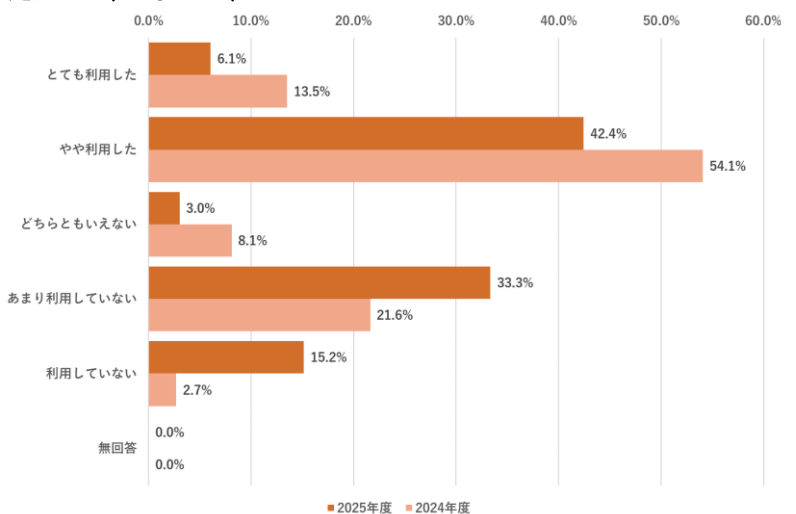
Q7. 就職活動を通じて自身の成長を感じることができましたか？（✓は1つ）

	度数	割合
とても成長した	13	39.4%
やや成長した	12	36.4%
どちらともいえない	6	18.2%
あまり成長しなかった	0	0.0%
成長しなかった	1	3.0%
無回答	1	3.0%
合計	33	100.0%



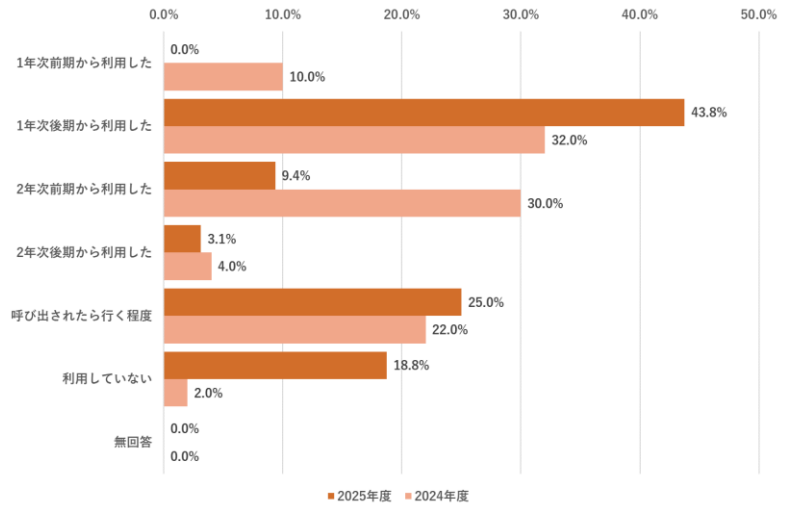
Q8. キャリアサポートセンターを利用しましたか？（✓は1つ）

	度数	割合
とても利用した	2	6.1%
やや利用した	14	42.4%
どちらともいえない	1	3.0%
あまり利用していない	11	33.3%
利用していない	5	15.2%
無回答	0	0.0%
合計	33	100.0%



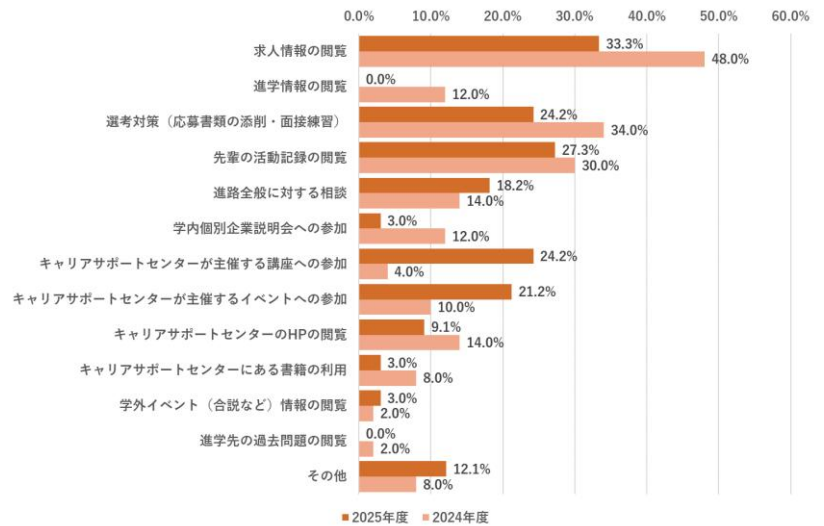
Q9. 何年次からキャリアサポートセンターを利用しましたか？（✓は1つ）

	度数	割合
1年次前期から利用した	0	0.0%
1年次後期から利用した	14	43.8%
2年次前期から利用した	3	9.4%
2年次後期から利用した	1	3.1%
呼び出されたら行く程度	8	25.0%
利用していない	6	18.8%
無回答	0	0.0%
合計	32	100.0%



Q10. キャリアサポートセンターをどのように利用しましたか？利用・参加した項目に✓をお願いします（複数回答可）

	度数	割合
求人情報の閲覧	11	33.3%
進学情報の閲覧	0	0.0%
選考対策（応募書類の添削・面接練習）	8	24.2%
先輩の活動記録の閲覧	9	27.3%
進路全般に対する相談	6	18.2%
学内個別企業説明会への参加	1	3.0%
キャリアサポートセンターが主催する講座への参加	8	24.2%
キャリアサポートセンターが主催するイベントへの参加	7	21.2%
キャリアサポートセンターのHPの閲覧	3	9.1%
キャリアサポートセンターにある書籍の利用	1	3.0%
学外イベント（合説など）情報の閲覧	1	3.0%
進学先の過去問題の閲覧	0	0.0%
その他	4	12.1%
回答者数	33	

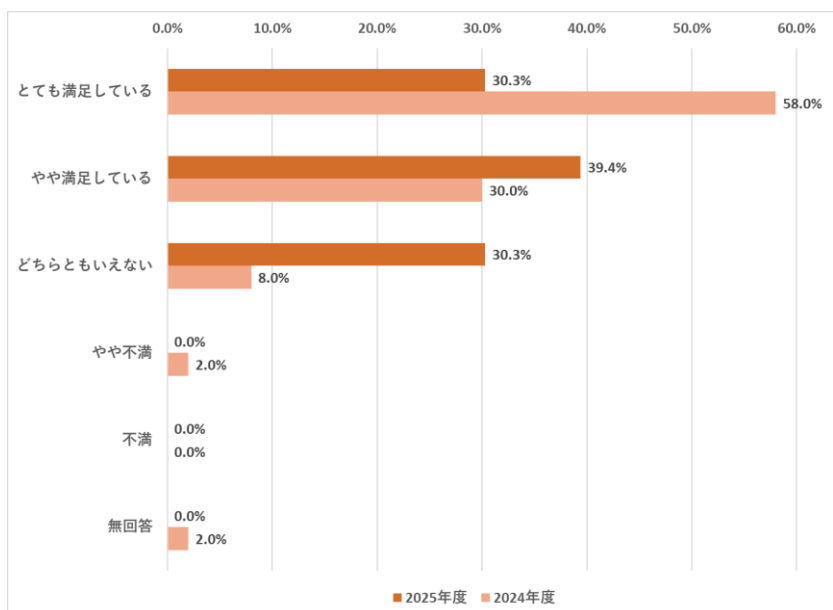


その他の回答

- 利用していない（4名）

Q11. キャリアサポートセンターの満足度はいかがですか？意見や要望など、コメントもお願いします（✓は1つ）。

	度数	割合
とても満足している	10	30.3%
やや満足している	13	39.4%
どちらともいえない	10	30.3%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	33	100.0%

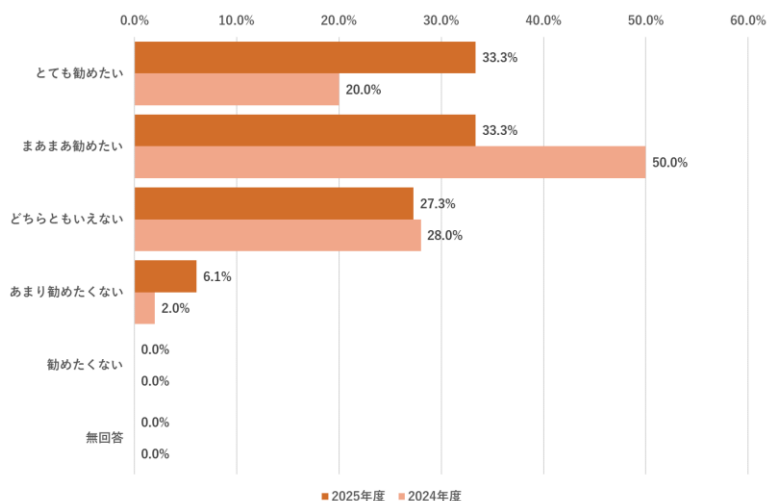


コメント

- 聞きたいことを聞いた時にとっても丁寧に対応していただき助かりました。
- キャリア相談（面談）で不安なことなどがなかったか聞いてくださり、いつでも相談に来てくださいと言ってくださって心強かったです。
- 何も利用していない
- ほとんど自力で就活を行っていたため、キャリアサポのイメージがあまりない。
- 公務員志望であれば勧めたい

Q12. 親戚や知人に母校（高崎商科大学短期大学部）を勧めたいと思いますか？（✓は1つ）
コメントもお願いします。

	度数	割合
とても勧めたい	11	33.3%
まあまあ勧めたい	11	33.3%
どちらともいえない	9	27.3%
あまり勧めたくない	2	6.1%
勧めたくない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	33	100.0%



コメント

- 短大では選択を考える時間が少ない
- 女多いし、通いやすい。2年ちょうどよい。
- 他大学の話を友人から聞く限り、本学は色々な経験が積めるのでそういったところが自分はオススメ。
- 自分の学びたいことを学べて、良い教員（学生に寄り添ってくれる人）が多かったから。

まとめ

【Q2】卒業後の進路に関する満足度（とても満足している・やや満足している合計）は、2024年度90.0%に対して、2025年度は72.8%となり、17.2ポイント満足度が減少している。

【Q11】キャリアサポートセンターの満足度（とても満足している・やや満足している合計）についても同じ傾向が見られており、昨年度88%に対して今年度は69.7%となり、18.3%減少した。

該当の選択肢を選んだ理由において、マイナスのコメントは見られなかったが、満足度の高い学生がいる一方で、満足感を得られない学生も見られたことから、今後一人でも多くの学生の満足度に寄与できるよう学生対応スキルの向上も必要であると考えます。

【Q3】進路選択に向けた具体的な行動では、2024年度よりも早く活動を開始した学生が目立つ。2024年度同様、「1年生1月～3月」に活動を開始した学生の割合が42.4%と一番多く、「1年生10月～12月」に活動を開始した学生も2024年度よりも上昇傾向にある。1年生の段階で就職活動をしている学生は60.6%であることから、短大は全体的に進路選択の早期化の影響が顕著に表れていると言える。

【Q6】進路選択の際の相談相手については、昨年度同様に保護者の割合（78.8%）が一番多く、保護者からの支援の必要性の高さがうかがえた。毎年実施している保護者懇談会等においても、引き続きご家庭からの支援も仰ぎたい。続いて、ゼミの先生と回答した学生が51.5%となり、昨年の34%から17.5%アップした。この数字からも、ゼミ教員の影響力は強く、学生にとって頼れる存在であることが分析できることから、ゼミ教員とキャリアサポートセンターの連携を強化することも、満足度を上げるうえでは効果的であると考えられる。

【Q10】キャリアサポートセンターの利用内容について、講座・イベントへの参加率が大幅に増加しているため、各種支援についても一定の効果があったと考えられる。講座・イベントについて、効果的な支援が行えるよう、引き続き内容構築に努めることとする。

以上

報告書作成日： 2026年3月31日

調査実施者： 高崎商科大学 キャリアサポートセンター